

3つのミッション
No.1

道路

5年後の
めざす姿

だれもが安心して通行できる
道路になっています



整備された西口駅前線

道路は、日々の生活を支えるとともに産業・経済活動の基盤であり、重要な役割を果たしています。市では幹線道路の整備などによって生活の利便性を高めるとともに、計画的・効率的な維持管理を行っていきます。

課題は？

■ 市民満足度調査の結果から

平成30年度に行った市民満足度調査において、「道路」は重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いという結果となり、市として重点的に取り組む課題である「3つのミッション」に掲げています。



幹線道路などの整備により渋滞を解消するなど、快適な道路環境を構築するとともに、老朽化が進む道路ストック（舗装や橋梁、標識など）の計画的で効率的な維持管理が求められています。

11 住み続けられるまちづくりを



SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴール・169のターゲットで構成されています。市でも「誰一人取り残さない」まちづくりを進めています。

整備

もっと快適な道路にしていくために

1

伊勢大橋の架け替えと
国道1号の拡幅



「国道1号桑名東部拡幅事業」の早期完了を経済団体や自治会などと共に国へ要望しています。事業の完了によって、伊勢大橋は災害に強い橋となり、交通渋滞の緩和が期待されます。

2

県道整備への要望



工事中の桑部播磨線

交通量が多くすれ違いが困難な道路の拡幅や、新たな道路の整備などを県へ要望しています。新たな道路として桑部播磨線の整備が行われており、南北の交通機能強化による渋滞緩和が期待されます。

3

桑名駅西土地画整理事業



桑名駅の西側において、東西軸および南北軸となる幹線・補助幹線道路と駅前広場の整備を進め、円滑な交通体系の確立と良質な住環境を整備します。

4

大山田パーキングエリアの
スマートインターチェンジ構想



企業立地が進む程度南部エリアへのアクセスが強化されることで、他の県道での交通量の軽減や、陽だまりの丘、大山田団地などから名古屋方面への通勤・通学の所要時間の短縮が見込まれます。

維持管理

「あって当たり前」を維持するために

道路パトロール

令和元年度からICTを活用し、公用車に積んだスマートフォンからの振動から、路面状況の計測・記録を行っています。今後、必要性の高い箇所から計画的に修繕などを行っていきます。



道路施設の維持管理

舗装や標識、カーブミラーなど、道路や付属施設に損傷があった場合に補修や応急的な修繕を行っています。また、見渡しのよい道路にするための除草作業なども行っています。



橋梁の維持管理

橋梁の多くは高度成長期に建設され、建設後50年を経過する橋梁が今後急増します。計画的な点検、補修と応急的な修繕などを行い、安全・快適に利用できるようにしていきます。



道路

5年後のめざす姿



- 安心して歩くことができる道路
- 道路環境のメンテナンスサイクルが回る
- 高速道路・主要国道と、連絡する道路が快適につながる

指標

道路舗装繕延長
市内の修繕している道路の長さ

5年後維持へ

令和2年度実績
1,542 m



市民が取り組みます!



- 清掃などの維持管理を協力して行っていきましょう。
- 普段利用している道路の破損や危険箇所を見つけたら、通報しましょう。
- 交通ルールを守って道路を利用しましょう。

市が取り組みます!



- 国や県に対して、高速道路や主要国道、幹線道路の整備について働きかけます。
- 道路環境を計画的・継続的に点検・補修します。
- 道路の日常点検を強化して、事前に安全を確保します。

みんなが安全に使えて
きれいな道路にしていきたいです

- 道路の舗装や付属施設・橋の維持管理
- 国や県管轄の幹線道路に整備要望提出
- 生活道路を整備し、人にやさしい道に

市民編集員の
「これも聞きたい」



堀さん (70代 男性)

Q 道路の白線が消えていて、危険な場所があるときはどうしたらいいですか。

A 道路には、さまざまな路面標示が設けられています。路面標示は、都道府県公安委員会(警察)が設置する道路標示と、道路管理者(国・県・市)が設置する区画線に分かれています。

「止まれ」や「追い越し禁止」など交通を規制するものや「横断歩道」などは警察へ、車道の中央部の白線や破線、車道の外側に設けられる白線などは道路管理者へお問い合わせください。

(アセットマネジメント課)



①警察が設置する横断歩道②市が設置する市道の区画線。令和2年度は約18キロメートルの市道の区画線を引き直しました。

現在

アセットマネジメント課を組織

平成30年度に市道、公園、河川の施設管理を専門で行う部署を新設しました。

- 外部へ委託していた応急的な修繕や除草など、業務の一部を職員が行うように変更したことで、迅速な対応が可能になりました。
- 現場に行くときにICTを活用した市内の道路のパトロールも兼ねることで、効率的な維持管理を行っています。



→ 令和2年度の道路に関する苦情は1,007件まで減っています。

過去

道路に関する苦情

市民満足度調査によって「道路」に対する満足度が低いことが分かった平成30年度、道路に関する市への苦情が年間2,074件寄せられていました。



この記事に関するお問い合わせは、秘書広報課へ (☎ 24-1492 FAX 24-1119)



ICTを活用し、道路面の劣化度を色別で示すことができます。

今月の特集は「道路」です。桑名市総合計画の後期基本計画では、重点的に進める「11の重点プロジェクト」を定めています。それは別に、市民満足度調査結果から、市民の皆さんにとって重要度が高いのに満足度が低い分野を「3つのミッション」として決めました。「道路」「防犯・交通安全」「公共交通」の3分野です。「道路」は、市民の皆さんの暮らしに直結しています。出発地から目的地まで、スムーズに移動できて当たり前、と感じておられると思います。そんな中で、市内で渋滞が発生したり、道路が破損したりしているため、満足度が低下しているのだからと考えています。満足度を向上させるには、目の前の課題を解決するために、すぐやるべきことと、長期的な視点で取り組むことを組み合わせ、全体の最適化を考える必要があります。

破損したりしているため、満足度が低下しているのだからと考えています。満足度を向上させるには、目の前の課題を解決するために、すぐやるべきことと、長期的な視点で取り組むことを組み合わせ、全体の最適化を考える必要があります。道路対策は、行政側の視点では「今ある道路を維持補修する取り組み」と「新しい道路を整備する取り組み」に分かれています。維持補修については、これまで職員のパトロールや、市民の皆さんの声によって箇所を特定し、補修してきましたが、令和元年度からは、ICTを活用して路面状況の計測・記録を自動的に行うシステムを導入しています。公用車に搭載した機器が、道路の凹凸や振動などで自動的に劣化状態を測定して、計画的に修繕できるようになりました。また新しい道路を整備することで、企業誘致や宅地開発を進め、増える税収で市民サービスとして還元できるようにしたいと考えており、現在最も力を入れているのは、大山田パーキングエリアのスマートインターチェンジ化です。東名阪自動車道から多度南部エリアの工業団地へのアクセスを強化することで、企業誘致の促進が図られます。そのみならず、団地や集落内への大型車両の通行が減少し、渋滞緩和も期待できます。そして国の事業である伊勢大橋の架け替え工事は、令和5年度から上部工の工事に着手していただけることになりました。一日も早い完成に向け、国へ要望してまいります。いずれにせよ、道路は、皆さんの生活に欠かせないものです。皆さんに満足いただけるよう、短期的および長期的な視点から対策を講じてまいります。

市長とみんなの Next vision

3つのミッション No.1 道路

